

平成28年度

学校評価について（考察）

早春の候、保護者の皆様方におかれましては益々ご清祥のことと拝察いたします。平成28年度も残すところあとわずかとなりました。日頃、本校の教育活動にご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。アンケート結果がまとまりましたのでご報告いたします。

学校教育目標 「みがき合い・支え合う、心豊かでたくましく生きる生徒を育てる」

平成28年度 重点目標

- コミュニケーション能力を高める
～ 信頼関係の構築、生徒理解・保護者との連携・職員間の共通理解
- 確かな学力を身につけさせる
～ アクティブラーニングの研修

1 成果 <そう思う・大体そう思うの回答の合計が85%以上の項目>

○生徒アンケートより

- ・学校については、白山中生は歌声ができています（89.2%）という評価である。
- ・学校生活について、先生方は、
友だちを思いやることを大切にしている（88.1%）
いじめや暴力のない学校をつくろうとしている（85.3%）
公共のルールやマナーを大切にしようとしている（93.8%）
わかりやすい授業を行おうと努力している（86.5%）
きちんと生徒指導している（89.8%）、
防災訓練等をとおして災害に備えている（92.9%）という評価である。
- ・自分については、楽しく通学し（86.3%）、友だち関係はよく（89.2%）、学校行事（88.9%）や部活動（85.0%）に積極的に参加しているという評価である。

○保護者アンケートより

- ・学校の姿勢については、学校教育目標に共感ができ（89.2%）、授業や行事をすすんで公開しようとしていて（88.4%）、学校・学年だより等の内容は適切だ（93.0%）という評価である。
- ・我が子については、楽しく学校に通学していて（85.6%）、行事に積極的に参加している（89.5%）という評価である。

○教職員アンケートより

- ・学校の姿勢については、
学校教育目標や経営重点に共感できる。（92.6%）
授業や行事を保護者に進んで公開しようとしている。（92.7%）
保護者の意見や相談にていねいに耳を傾けている。（92.7%）
学校・学年通信等の内容は適切だと思う。（97.5%）
- ・学校の指導について
防災訓練等をとおして危機災害に備えた指導が行われている。（87.8%）

- ・生徒について
生徒は、学校に楽しく通学している。(87.8%)
生徒は、学校行事に意欲的に参加している。(92.7%)

2 課題 <あまりそうは思わない・そうは思わないの回答の合計が30%以上の項目>

- 生徒アンケートより、30%以上に該当する項目はなかった。
- 保護者アンケートより
 - ・学校の指導について、生徒の将来の進路や職業についての情報提供や指導を適切に行っていると思う。(35.3%)
 - ・教師について、教師は生徒主体の授業を行おうと努力している。(30%)
- 教職員アンケートより
 - ・学校の指導について
挨拶ができ、公共のルールやマナーを守る生徒を育てようとしている。(39%)
共通理解・共同歩調で生徒指導ができている。(58.5%)
 - ・教師について
生徒は「自分のことを理解してくれている先生がいる」と感じていると思う。(41.4%)
生徒は「先生方はアクティブラーニング型の授業をしようとしている」と感じていると思う。(60.9%)
 - ・生徒について
生徒はコミュニケーション能力を向上させようとしていると思う。(58.5%)

3 考察

- 重点目標「コミュニケーション能力を高める」について
 - ・人とコミュニケーションが上手に図れているかについて、生徒自身の回答ではおおむねできているが80.7%、保護者もわが子はおおむねできているが79.7%である。これに対して、教職員はコミュニケーション能力を向上させるよう努めてほしいと58.5%が感じている。また、挨拶ができるよう育てたいと39%が感じている。
挨拶については、生徒会役員があいさつ運動に取り組み、成果が確実に見られた。
来年度も「コミュニケーション能力を高める」については、学校重点指導項目として取り組む必要がある。
 - ・アンケート結果より、学校や教職員は生徒並びに保護者との信頼関係構築のためにコミュニケーション能力を一層高める努力が必要である。また、進路情報も含め、きめ細かな情報提供に努めたい。
- 重点目標「確かな学力を身につけさせる～アクティブラーニングの研修」について
 - ・生徒並びに保護者そして教職員の三者ともに、生徒が主体の授業は十分に行われていないと回答している。わかりやすい授業を行うことにも一層の努力が求められている。教職員の回答からは、アクティブラーニングの研修は行ったが、授業での実践がまだ十分でないことがわかる。来年度も重点目標としてアクティブラーニングの研修と実践に取り組む必要がある。
- 生徒理解・生徒指導について
 - ・生徒並びに保護者からより一層生徒理解に努めて欲しいという回答がうかがえる。学校や教職員は生徒指導の共通理解・共通行動が図られるように工夫し、生徒理解がされることを生徒並びに保護者から理解されるように努力する必要がある。
- 記述式で回答していただいたご意見については、真摯に受け止めて、理解が得られるよう努める必要がある。また、教師の言動では、信頼関係を損なわないよう努める必要がある。